

七 浜口首相遭難関係

676 昭和5年11月14日 幣原外務大臣より
在外各公館長宛(電報)

浜口首相遭難の模様について

本省 11月14日後1時46分発

合第五四一号

至急情報

浜口首相ハ岡山地方大演習陪観ノ為十四日午前九時東京駅
発特急ニテ出発セムトシタル直前「ブラットフォーム」ノ
人混ミ中ヨリ狙撃セラレ弾ハ右下腹部ニ命中腹腔内ニ留マ
リタリ首相ハ直ニ手当ヲ受ケ居レルガ付添ノ者ト談話ヲ交
ヘ居ル程度ニテ余病併発セサル限り生命ニ別条ナキ見込尚
犯人ハ直ニ逮捕セラレタルガ二十三歳ノ長崎県生レ青年ナ
リ

677 昭和5年11月14日 幣原外務大臣より
在英米各大使、在中国臨時代理公使、
在ニューヨーク総領事他宛(電報)

浜口首相の容態について

本省 11月14日後7時16分発

北平、奉天へ転電シ南京へ暗送セリ

679 昭和5年11月15日 在ソヴィエト連邦天羽臨時代理大使
より
幣原外務大臣宛(電報)

浜口首相遭難に対する外務部当局及び各国外

交官の見舞の意向について

モスクワ 11月15日後発
本省 11月16日前着

第六四九号

浜口総理ノ遭難ハ十五日「タス」ニ依リ簡單ニ当地ノ新聞ニ
報道セラレタル処同日外務部儀礼部長「フロリンスキー」
来館政府ヲ代表シ又個人的ニ「クレチエンスキー」及「カ
ラハン」ニ代リ深厚ナル見舞ヲ述フルト共ニ其ノ後ノ容体
ヲ聞キタルニ付貴電合第五四一号、五四三号ノ次第ヲ述ヘ
置キタリ又独逸大使並ニ波蘭及丁抹公使ヨリ電話若ハ書信
ヲ以テ同様見舞アリタルニ付右同様挨拶シ置ケリ

680 昭和5年11月15日 在上海重光総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

浜口首相遭難に関する在上海有力中国紙の論

合第五四三号

浜口首相其後ノ容態ハ手術ノ結果極メテ良好ニシテ余病併
発無クバ三週間位ニテ全治ノ見込ナル由尚当地経済界ニハ
何等悪影響ナシ

在英大使宛ニハ「仏独伊露へ転電アリ度シ」

678 昭和5年11月15日 在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

浜口首相遭難に対する国民政府首脳の見舞の

辞について

南京 本省 11月15日後着

公第一〇九一号

十四日ノ祝賀会ニ於テ面会セルトキ蔣主席ハ浜口首相ノ遭
難ニ付同情ノ意ヲ表シ右ハ外交部ヲ経テ見舞ノ電報ヲ発ス
ル積リナルモ本官ヨリモ此ノ趣旨ヲ御伝達アリタシト述ヘ
タリ尚外交部長ハ早速見舞電ヲ出シタル由ニテ其ノ他政府
首脳ノ各方面ノ人々ヨリモ夫々見舞ノ辞ヲ受ケタリ

評について

上海 11月15日後発
本省 11月15日後着

第六三八号

浜口首相遭難ニ関スル報道ハ十五日ノ当地中外諸新聞ニ一
斉ニ掲載セラレ一般ニ多大ノ衝動ヲ与ヘタルカ当地ノ有力
支那紙タル時事新報、新聞報及申報等ハ何レモ社説ヲ掲ゲ
同情アル論評ヲナセリ右ノ内時事ハ隣国首相不慮ノ災禍ヲ
慰問ストテ国民大多數ノ支持スル内閣総理ヲ国民力狙撃ス
ルカ如キハ奇怪極マレリ明治時代ニ起リシ暗殺事件ノ原因
ハ錯綜セリト雖モ多クハ所謂愛國ノ衝動ニ驅ラレシモ原敬
ノ暗殺ハ無理解ナル青年ノ盲動ニ端ヲ発シ又今回ノ凶行ハ
日本近時ノ社会思想ニ鑑ミ故無シトセサルモ右事変ニ依リ
現内閣ノ運行ニハ累ヲ及ホササルヘク從テ幣原外交ハ尚存
続スヘシ云々ト論セリ

北平、南京、奉天へ転電セリ

681 昭和5年11月15日 在本邦英国大使より
幣原外務大臣宛

浜口首相遭難に対する英国首相の見舞の書信

伝達について

British Embassy,
Tokyo.

November 15, 1930.

No. 226.

Your Excellency,

I have the honour to inform Your Excellency that I have received a telegram from His Majesty's Principal Secretary of State for Foreign Affairs instructing me to request that Your Excellency will be so good as to convey to His Excellency The Prime Minister the following personal message from Mr. Ramsay MacDonald:-
"I have learnt with profound regret of the dastardly attack on your person. Please accept this expression of my deep sympathy and my sincere wishes for your speedy recovery."

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

T.M Snow
(signed)

Excellency

Baron Kijuro Shidahara,
H.I.J.M. Minister for Foreign Affairs.

昭和5年11月15日

在本邦米國大使より
幣原外務大臣宛

浜口首相遭難に対するステイムンソン國務長官
の見舞の演書は謹じて

AIDE MEMOIRE.

Both the Government of the United States and the Secretary of State personally are profoundly shocked at the news of the attempted assassination of Prime Minister Hamaguchi. The Secretary earnestly hopes that his life, which has contributed so nobly to the peace of the world, may be spared for his country.

Tokyo, November 15, 1930.

昭和5年11月15日

幣原外務大臣より
在上海重光臨時代理公使宛 (電報)

浜口首相の遭難に対する中国政府の見舞の意
向汪米室公使より伝達について

11月15日後4時40分発

1930 Nov 16 Pm 2 29

公第四一七号

十五日汪中国公使亜細亜局長ヲ来訪王外交部長ノ訓令ニ依ル趣ヲ以テ浜口首相ノ遭難ニ対スル国民政府ノ懇篤ナル慰問ノ辞ヲ述ヘ本大臣ニ伝達方申出タルヲ以テ不取敢同局長ヨリ謝辞ヲ述ヘ置キタルカ貴官ヨリモ同部長ニ対シ本大臣ノ深厚ナル謝意ヲ伝達シ置カレタシ
南京へ転電アリタシ

684 昭和5年11月16日

ムッソリーニ・イタリア首相より
浜口首相宛 (電報)

浜口首相の遭難に対する見舞の意披露について

SUA ECCELLENZA HAMAGUCHI
PRESIDENTE DEL CONSIGLIO

TOKIO

11669 ADDOLORATO NOTIZIA DELLO INSANO ATTO
COMPIUTO CONTRO VOSTRA ECCELLENZA TENGO
AD ESPRIMERLE A NOME REGIO GOVERNO ET MIO
SINCERI FERVIDI VOTI

MUSSOLINI

682 昭和5年11月15日

在本邦米國大使より
幣原外務大臣宛

浜口首相遭難に対するステイムンソン國務長官
の見舞の演書は謹じて

AIDE MEMOIRE.

Both the Government of the United States and the Secretary of State personally are profoundly shocked at the news of the attempted assassination of Prime Minister Hamaguchi. The Secretary earnestly hopes that his life, which has contributed so nobly to the peace of the world, may be spared for his country.

Tokyo, November 15, 1930.

昭和5年11月15日

幣原外務大臣より
在上海重光臨時代理公使宛 (電報)

浜口首相の遭難に対する中国政府の見舞の意
向汪米室公使より伝達について

685 昭和5年11月17日

在英國松平大使より
幣原外務大臣宛 (電報)

浜口首相遭難に対する英國皇帝陛下の御軫念
について

第三二四号

ロンドン 11月17日後発
本 省 11月18日前着

当國皇帝陛下ニ於カレテハ浜口総理ニ対スル陋劣ナル暗殺ノ企図ニ対シ深ク御軫念アラセラレ総理ノ全快ヲ信セララル旨並ニ其ノ容態ノ報道ヲ御承知アラセラレタキ旨皇帝秘書「スタムフォード」今日十五日付書面ヲ以テ申越シタルニ付本使ハ皇帝ノ御配慮ニ対シ厚ク御礼申上ケ総理容態ニ関シテハ貴電合第五四三号ノ次第ヲ述ヘ右執奏方同時ニ回答シ置キタリ

686 昭和5年11月17日

在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛 (電報)

浜口首相遭難に対し張學良の見舞の意向伝達
方について

付記 十一月十五日付張学良発の見舞電報

奉天 11月17日後発
本省 11月17日後着

第五六〇号

十七日午後王特派員本官ヲ来訪南京滞在中ノ張学良ヨリ浜口総理遭難ノ報ニ接シ御同情ニ堪ヘス御見舞申上クルト共ニ其ノ後ノ経過詳細承知シタシトノ電命ニ接シタリトテ懇ニ見舞ヲ述ヘタルニ付本官ハ張副司令御好意ノ程ハ早速政府ニ電報スヘク何レ政府ヨリ何分ノ挨拶アルヘキモ不取敢本官ヨリ御礼申上クル旨副司令ニ伝達方申述ヘタル上本日迄ノ御容態ヲ説明シ置ケリ

(付記)

昭和五年十一月十五日南京発

浜口内閣総理助鑒聞刺受驚至為馳系謹奉詢起居

張学良 刪

687 昭和5年11月17日 在青島川越総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

浜口首相遭難に関する在青島米系漢字紙の論
説について

第四二〇号

青島 11月17日後発
本省 11月17日後着

当地正報「米系漢字紙」ハ十七日ノ紙上ニ大要左ノ如キ意味ノ論説ヲ掲載セリ

浜口首相遭難ノ原因カ日本ノ弱少民族圧迫ニ関連セルモノナルハ疑問ノ余地ナシ日本ノ帝国主義ハ外ハ殖民地ノ少民族ヲ圧迫シ内ハ其ノ労働階級ヲ圧迫スルノ結果ヲ招致セリ朝鮮ニ於ケル累次ノ暴動霧社蛮ノ蜂起ノ如キハ前者ヲ又最近大津電車ノ暴動ノ如キハ後者ヲ証スル事象ナリ日本トシテ此ノ際帝国主義ヲ改メサランカ日々増加スル失業問題ト相俟ツテ十年ナラスシテ国家ノ根本ヲ動揺セシムルカ如キ大問題ニ逢着スヘシ浜口首相ノ遭難ハ即チ其ノ前兆ナリ帝国主義者ハ今ニシテ自省ノ要アラシ云々
上海、北平、南京ニ転電セリ

688 昭和5年11月18日

浜口首相遭難に対する国民政府考試院長戴天仇の見舞の意伝達について

浜口首相遭難ニ対スル戴天仇氏見舞ノ件

昭和五年十一月十八日汪中華民國公使ヨリ谷亜細亜局長ニ対シ戴天仇氏(国民政府考試院長)ヨリ今回ノ浜口首相遭難ニ付深厚ナル見舞ヲ述ヘ速ニ快癒アラシコトヲ祈ル旨伝達方電報越タルニ付右可然伝達アリタキ趣電話ニテ申出タリ

689 昭和5年11月19日 在中国矢野参事官より
幣原外務大臣宛

浜口首相遭難に対する中国側要人の慰問申出
について

機密第一〇四三号

昭和五年十一月十九日

在支那日本公使館

大使館参事官 矢野 真(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口首相遭難ニ対シ支那側要人ノ慰問申出ノ件

今般浜口首相遭難ニ対シ危道豊ハ本月十五日、湯爾和ハ同十七日本官ヲ来訪シ深厚ナル慰問ノ意ヲ表スルト共ニ右本國政府ニ転達方申出アリ又汪精衛ハ十七日秘書曾仲鳴ヲ当

館ニ派遣シ同様申出アリタルニ付本官ヨリ夫々謝意ヲ申述ヘ置キタリ

右報告ス

690 昭和5年11月19日 在中国矢野参事官より
幣原外務大臣宛

浜口首相遭難に対する在北平漢字紙の論調に
ついて

公第一〇四六号 (十一月二十六日接受)

昭和五年十一月十九日

在支那日本公使館

大使館参事官 矢野 真(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口首相遭難ニ対スル支那紙論調報告ノ件

浜口首相ノ遭難ニ関シ当地各漢字紙ハ何レモ連日連合及電通等ノ通信ヲ掲載シ居レルカ各紙ノ右ニ対スル論説概要左ノ通

一、京報(十一月十五日)

浜口首相ハ最近日本ニ於ケル内閣総理ノ中比較的明白ニ責任ヲ取り立憲的且平民的ナルモノナルカ今次ノ遭難ハ

驚クヘキコトニシテ慰問ニ値ス其原因未タ判明セサルニ付論評ハ之ヲ差控フヘキモ暗殺ハ卑劣ナル行為ニシテ断然排斥スヘキハ論スル迄モナシ云々

二、華北日報（十五日）

本件カ何等政治の意味ヲ有スルヤ否ヤ未タ不明ナルカ浜口氏ノ地位及遭難ノ場所ヨリシテ吾人ハ十年前ニ於ケル原敬氏ノ遭難ヲ連想ス而シテ一ハ寺内内閣ノ後ヲ受ケ一ハ田中内閣ノ後ヲ継キタルモノニシテ何レモ一般ヨリハ比較的良好ナル政府ト認メラレ又個人トシテモ原、浜口両氏ハ寺内、田中両氏ニ比シ進歩セルモノナルカ何レモ同様ナル不幸ニ遭遇セルハ注意スヘキ日本式現象ト謂フヘシ

浜口内閣ハ成立以来内政ニ於テ緊縮政策ヲ取レルカ外交ニ於テハ対支不干渉主義ヲ採レリ右不干渉主義ハ實際上徹底セルモノニ非サルモ這回ノ対逆軍事ノ際山東ニ於テハ前回ノ北伐軍北進當時ト同様ノ事態發生シタルニモ拘ラス浜口内閣ハ田中内閣ノ如ク山東出兵ヲ断行シ我領土ヲ蹂躪スルカ如キコト無カリシハ浜口氏ノ聡明ナル点ト謂フヘシ其外倫敦条約ノ如キ其内容本質ノ如何ハ別問題

昭和五年十一月十九日

在奉天

総領事 林 久治郎（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口総理遭難ト奉天支那新聞論調ニ関スル件

浜口総理遭難ノ報伝ハルヤ当地各漢字紙トモ連日其容体ニ関スル連合及電通ノ通信ヲ記載シツアルカ今日迄ノ処評論ヲ発表セルモノ頗ル鮮ク唯十八日発行ノ遼寧省政府機関紙東三省民報ノミ「浜口総理狙撃セラル」ト題シ大要左ノ如キ好意的社説ヲ掲ケタリ新聞切抜添付報告ス

專制時代ノ暗殺ハ恕スヘシトスルモ現代立憲治下ニ在リテハ議會又ハ言論機關ニ依リ紛争若ハ是非ヲ決スヘク卑劣ナル暗殺手段ハ許スヘカラサルモノナルニ東方文化国日本ニ於テ猶ホ浜口首相ノ狙撃ヲ見タルハ誠ニ遺憾トスル処ナリ浜口総理ノ人格ニ関シテハ日本国内已ニ定評アリ吾人隣国ノ地位ニ在リテハ何等ノ恩怨無キモ尚且浜口ノ人物ヲ正義的政治家ト称セサルヲ得ス浜口内閣成立以来ノ成績ヲ見ルニ完全ト称スルヲ得サル迄モ又以テ人意ヲ強クスルモノアリ対内的ニ之ヲ言ヘハ（金解禁ヲ断行シテ対外為替ノ平調

トスルモ軍閥ノ反対ニ拘ラス断然之ニ調印セルハ英断ト称スヘシ旁今次浜口氏ノ遭難ニ対スル同情ハ特ニ深刻ナルモノアル次第ナリ云々

三、世界日報（十八日）

浜口首相遭難ノ原因ハ未タ明カナラサルモ大体（一）共產党ノ暴力行動（二）狭義ニ於ケル愛国主義者ノ憤怒ニ基ク行為ノ二ヲ出テサルヘキ処其何レタルニ拘ラス斯ノ如キ手段ハ政治上全然無意義ニシテ且極メテ卑劣ナリ要スルニ吾人ハ日本帝国主義者ノ対内対外政策ニ付一トシテ是ト認ムルモノナク殊ニ其対支政策ニ対シテハ反感ヲ禁シ得サルモ浜口氏ノ遭難ニ対シテハ慰問ノ意ヲ表セサル能ハサルナリ云々

右報告ス

本信写送付先 代理公使

691 昭和5年11月19日

在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛

て 浜口首相遭難に関する在奉天新聞論調について

公第八三二二号

（十一月二十六日接受）

ヲ図リ（二）緊縮政策ヲ実行シテ侈奢ノ風ヲ矯メ（三）官紀ヲ肅清シテ政界ノ空氣ヲ一新シタルカ如キハ平民ノ為ニ氣ヲ吐クモノニシテ日本憲政史上重大ノ価値ヲ有ス又対外的ニハ（一）対支外交ニ於テ田中内閣ノ武力侵略政策ヲ抛棄シ両国々民ノ感情ヲ疎隔ヨリシテ融和ニ向ハシメ過去一年以来日支間懸案ノ解決セルモノ鮮カラス常ニ日支親善ヲ以テ主義トナシ事小ナリト雖モ「支那」ノ名称ヲ改メテ「中華民國」トナシ（二）軍令部及枢密院ノ反対ヲ排シテ海軍軍縮条約ヲ成立セシメ世界平和ノ保持ニ対スル日本ノ誠意ヲ世界ニ披瀝シ（三）文明国ノ失態トモ言フヘキ台湾生蕃事件ノ善後措置ニ対シ十月三十一日ノ閣議ニ於テ今後徳化主義ヲ以テ生蕃ニ臨ム旨ヲ決定シ台湾官吏ノ不当処置ヲ認メテ世界弱小民族ノ反対心理ヲ緩和セルカ如キハ日本政治家トシテ鉄中ノ錘々タルモノト言ハサルヘカラス凡ソ政治家ノ暗殺セラルルモノ古来鮮シトセス近來刺客ノ素行ニ付之ヲ調査スルニ必スシモ政治上ノ目的ヲ含ムモノニ非ス一種無頼ノ徒力失業又ハ失意ノ為著名ノ人物ヲ殺シテ死花ヲ咲カセントスルモノ鮮カラス誠ニ文明社会恐ルヘキ現象ナリ浜口ノ刺客ハ未タ其詳ヲ悉ササルモ東電伝フル処ニ依レハ芸者ノ私生児ナル

カ如ク政治上ノ目的ト言フヨリモ寧ロ前記ノ惡戲的情死ナルヤモ知レス要之如何ナル目的又ハ動機ニ出ツルモ暗殺ハ人道上絶対ニ容レサル処ニシテ吾人ノ敬愛スル隣国ノ正義政治家浜口カ遭難セルハ誠ニ氣ノ毒ニシテ浜口一身ノ安危世界ノ平和中日親善ノ為ニ一日モ速ニ其快癒ヲ祈ルモノナリ云

本信写送付先、中華民國代理公使、北平首席、上海、南京

692 昭和5年11月20日 在広東須磨総領事より
幣原外務大臣宛

浜口首相遭難事件に関する広東方面の反響について

機密公第一三三四号 (十二月二日接受)

昭和五年十一月二十日

在広東

総領事代理 須磨 弥吉郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口首相遭難事件ニ関シ当方面ノ反響報告ノ件

浜口首相遭難事件ニ関シ十一月十五日付中国紙ハ一斉ニ

693 昭和5年12月5日 在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

浜口首相逝去に対する蔣介石の見舞について

南京 12月5日後発
本省 12月6日前着

公第一一七七号

貴電公第四一七号及往電公第一一五四号ニ関シ

五日蔣介石往訪先ツ浜口首相ノ遭難及伊豆地方震災ニ関スル見舞ニ対シ改メテ謝意ヲ伝達シタル処蔣ハ首相ノ経過ヲ尋ネタル後右二事件ニ関シテハ独リ自分ノミナラス一般国民モ頗ル懸念シ居ル次第ニ付一日モ速ニ首相カ健康ヲ回復セラルルコト並震災地方ノ原状回復ヲ希望スル旨挨拶スル所アリタリ

又其ノ際蔣ハ地方肅清ノ為上流ニ赴クモ間モナク帰京スヘキ旨語レリ尚本官ハ主席カ凱旋後更ニ第四次全体会議ニ於テ充分ノ成果ヲ収メ且行政院長ヲモ兼ね國務ノ實際ニ直接關係シ責任ニ重キヲ加ヘタル次第ニシテ日支ノ良好ノ關係ニ向テモ一層助力ヲ請ヒタキ旨挨拶シ置ケリ
上海へ暗送シ、南京へ転報セリ

号乃至四号活字ヲ以テ報道シタル処一流新聞(民国日報、市政日報、現象報、国華)ハ何レモ連合電、東方電等ノ転載ヲ掲ケテ真相ヲ伝ヘ首相ハ生命ニ別条無キ旨報シタルモ其他ノ新聞中ニハ早合点ノ為カ落命セル如ク報シタルモノモアリタリ(国民新聞、七十二行商報、新民報、広東新報、羽公報等)

本件ニ関シテハ別ニ社説等ヲ掲ケタルモノ無キモ本件遭難原因ニ就キ後者新聞紙中新民報、広東新報、羽公報等ハ最近日本政界ノ暗潮激烈ナル故右ハ恐ラク反对党ノ使噓セル結果ナルカ然ラスンハ近来侵略的ニ向ヘル現内閣ノ対支政策ニ反对セル左傾派ノ行為ナルカノ如ク揣摩臆測的所説ヲ掲ケタルニ付其ノ後真相確メノ為来館セル支那紙探訪記者ニ対シ公電及新聞電報ニ基キ右様事実無キ旨付言シ置キタリ尚中国側ハ見舞旁々其ノ後ノ経過聴取ノ為十五日市政府秘書梁植槐ヲ派遣越シタルニ依リ前記電報ニ基キ事ノ真相ヲ伝フルト同時ニ支那側ノ好意ニ対シ表謝シ置キタリ
右報告申進ス

本信写送付先、北平参事官、代理公使

694 昭和6年8月27日 キャッスル米國國務次官より
幣原外務大臣宛(電報)

浜口首相逝去に対する米國政府よりの弔電について

ワシントン 8月27日後発
本省 8月27日後着

Washington, Aug. 27, P.M., 1931.
Received, Aug. 27, P.M., 1931.

His Excellency,

Baron Kijuro Shidehara,

Minister for Foreign Affairs,

Tokio.

I have learned with distress of the death of former Premier Yaku Hamaguchi and I assure you of the sincere sympathy of the government and people of the United States in the decease of this distinguished statesman and public leader. I would be grateful if you would convey to the family of Mr. Hamaguchi my personal

condolences.

W.R. Castle, Jr.
Acting Secretary of State.

695 昭和6年8月28日 在上海村井総領事より
幣原外務大臣宛

浜口前首相逝去に関する在上海新聞論評につ
いて

付属書一 八月二七日付「チャイナ・プレス」記事
二 八月二七日付「申報」記事

公信第一〇四九号 (九月七日接受)

昭和六年八月二十八日

在上海 総領事 村井 倉松(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相逝去ニ関スル新聞論評ノ件

浜口前首相逝去ノ報道ハ八月二十七日ノ当地中外諸新聞ニ
掲載セラレ一般ノ驚愕ト同情ヲ惹ケルカ同日「チャイナ・
プレス」ハ社説ニ於テ「日本ノ財政状態ハ経費節減ナル不
人氣的政策ヲ採ラサルヲ得サリシ秋ニ当リ浜口首相ハ一大
決心ヲ以テ所信ノ断行ニ努力セシ」旨又申報ハ前首相ノ政

This did not deter him from his purpose, and he was
successful in arresting expenditure and applying the
pruning knife so effectually that after about a year of
office there was a distinct improvement. Unhappily a
misguided youth attempted to assassinate him in Novem-
ber last year. Although Mr. Hamaguchi recovered
sufficiently to take up the rein again in March last it
was obvious that he would be unable to bear the strain
for long and his retirement shortly after and the ap-
pointment of Baron Wakatsuki as his successor were
no surprise.

The Chinese people will sympathize with the people
of the neighboring country over the passing of one of
the most liberal minded men who have adorned the
public life of Japan.

(付属書二)

●日本前任首相浜口雄幸逝世

日本前任首相民政党前任総裁浜口雄幸氏已於今日三時許逝
世矣氏生於一八七〇年(明治三年)於一九二九年七月二日膺

治的功績ヲ挙ケタル後全世界カ不景氣ニ悩ミツル際大
政治経済家ノ長逝ヲ悼ム旨論評セリ
右御参考迄ニ新聞切抜添付報告ス
本信写送付先 在華公使

(付属書一)

Shanghai, Thursday, August 27, 1931

The Late Mr. Osachi Hamaguchi

The regret at the death of Mr. Osachi Hamaguchi,
formerly prime minister of Japan will be worldwide.
He represented the best and most liberal element among
Japanese politicians. When he came into power in July
1929 he took up a task of great difficulty and one that
called for the fullest exercise of the great qualities of
courage and determination that he undoubtedly pos-
sessed. The finances of the country were in a condition
that required the most relentless economy in expenditure.
Economy is never a popular political slogan, and Mr.
Hamaguchi had to face the prospect of making himself
and his party unpopular.

命組閣去年十一月以出席岡山陸軍特別大演習被暴徒狙撃於
東京車站調養迄今終以邁年受創無法恢復其康健而以殂謝聞
在浜口遇刺之初繼任代理首相問題曾引起日本政局上絶大不
安定之政潮民政党本身亦以繼任総裁問題引起極嚴重之動盪
情勢(略)自今年四月十三日若槻就任民政党総裁并奉命組閣後
浜口乃漸為世人所忘却其未能忘却者乃浜口個人之健康問題
而非其所關係於日本政治上之地位

綜計浜口内閣之政績為金解禁与財政緊縮為処置三大賄案為
減税為樹立国防新計劃而其外交政策則為對美獲得諒解對蘇
連連絡對華緩和彼以堅固之操守謙虛之衷懷耿耿忠心以從事
政治其個人人格頗為一般日人所崇讚然而無如其政治生命恰
与世界經濟一同走入塞途世界經濟之普遍蕭索使日本為空前
之大不景氣所苦失業人数激增因之浜口内閣之金解禁与緊縮
節約政策遂被在野敵党所痛斥為造成不景象之大因而防不勝
防救不勝救之失業羣衆騷擾幾於不可終日政友会提出嚴重之
責難無産政党復作打倒之狂叫在責難紛至風雨飄搖之危局下
而浜口終於以被刺聞

浜口死矣昨日吾人得英工党内閣更迭之消息今又聞浜口之噩
耗在世界經濟不景氣惡潮衝激之下遂使全世界經濟政治家

同感束手無以応付是則世界局勢之転換或亦可隠若望見其前途乎

696 昭和6年8月28日 在マニラ木村総領事より
幣原外務大臣宛

浜口前首相逝去に対する在マニラ英字紙の社説について

普通第二三〇号 (九月九日接受)

昭和六年八月二十八日

在マニラ 総領事 木村 惇 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相ノ逝去ニ関スル件

浜口前首相ノ逝去ニ対シ当市夕刊英字紙「フィリッピン、ヘラルド」ハ本月二十七日「平民浜口」ト題スル社説ヲ掲ケ

「昨日逝去シタル日本ノ前首相浜口雄幸氏ニ対シ其潔白ニシテ人氣アリシ政治ニ信頼セシ日本及世界万国ハ拳ケテ弔意ヲ表シテ居ル氏ハ日本並其他ノ列国ニ対シ二個ノ大徳ニ立脚シタ即チ一ハ平民ノ偉大ナル朋友テアッタコト他ハ公的惇徳ノ頑強ナル敵テアッタコト之レテアル実ニ氏ノ為政治家トシテノ名声ハ冒徳ニ対スル敢戦ニ基キ又氏カ權力家ニ

ヲ望ミ衷心悼意ヲ表シ特ニ電報ヲ以テ謹ンテ御悔ミ申上ク

698 昭和6年8月29日 在タイ高津臨時代理公使より
幣原外務大臣宛

浜口前首相死去に対する在タイ英文デイリーメール紙の社説について

公第一〇二号 (九月二十二日接受)

昭和六年八月二十九日

在暹 臨時代理公使 高津 富雄 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相死去ニ対スル新聞論調報告ノ件

浜口前首相死去ノ電報ハ二十七日付当地各新聞紙上ニ掲載セラレタルカ英文デイリーメール紙ハ特ニ氏ノ写真ヲ掲載ケ翌二十八日付社説欄ニ於テ「ライオン」ト題シ「浜口前首相ノ死ニ由テ日本ハ過去永キニ亘リ其ノ内政外交ヲ支配セル軍閥政治家ノ凋落後進出セル文治派政治家ノ一人ヲ失ヒタルモノト為シ氏ヲ米國前大統領クーリッジ氏ニ比シタル後氏ノ内閣ノ総選挙ノ勝利カ自由主義派ノ賞讃スル幣原外

立身シタルハ日本ノ鉄道行政ノ腐敗ヲ一掃シタル酬償ニ他ナラナイ然シ乍ラ氏ハ一人民トシテモ將又日帝國ノ最高執政家トシテモ共ニ日本公衆ノ和平ノ為メニ忠実ニ終始シタ氏ハ頑固ナル平民テアッタ氏ノ死去ハ日本國民ノ損失タルト同時ニ真ノ「デモクラシー」ニ趨ク機運ノ為メニ亦一損失テアル」

ト論シ弔意ヲ表シタリ

右何等御参考迄ニ記事切抜相添ヘ此段報告ス

697 昭和6年8月29日 蔣介國民政府主席より
若槻民政黨總裁宛 (電報)

浜口前民政黨總裁逝去に対する蔣介石の弔電について

上海 8月29日後発
東京 8月29日後着

民政黨本部

若槻總裁

蔣中正

頃聞貴前總裁浜口先生逝世之耗哀感莫名東望海天中心是悼特申電唁謹致悃誠

蔣主席發若槻總裁宛電報訳文

貴党前總裁浜口先生逝去ノ報ヲ聞キ哀悼ニ堪エス東海ノ天

交ノ出現ト又井上氏ノ經濟政策ノ實現トヲ招来セシメ得タリト述ヘ張作霖暗殺事件ノ真相ニ関シ世界カ疑惑ノ目ヲ向ケタル際日本ハ非強圧外交ヲ必要トナシ浜口内閣カ其ノ要求ヲ滿タシタルナリト結ヒ居レリ

右新聞切抜相添何等御参考迄報告申進ス

699 昭和6年8月30日 在中国重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛 (電報)

張上海市長より浜口前首相逝去に対する蔣介石の若槻首相宛弔電の転達方依頼について

上海 8月30日後発
本省 8月30日後着

第八三〇号

二十九日蔣介石ヨリ若槻首相宛左記電報直接打電セル趣ナルカ尚貴官ヨリ為念転電方張市長ヨリ依頼アリタルニ付右転電アリタシ

「貴靈前總裁浜口先生逝去ノ報ヲ聞キ哀悼ニ堪エス東海ノ天ヲ望ミ衷心悼意ヲ表シ特ニ電報ヲ以テ謹ンテ御悔ミ申上ク蔣中正」

北平、南京、奉天へ暗送セリ

昭和6年8月31日 在マニラ木村総領事より
幣原外務大臣宛

浜口前首相逝去に対する在マニラ英字紙の社説について

普通第二三五号

(九月十四日接受)

昭和六年八月三十一日

在マニラ

総領事 木村 惇(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相ノ逝去ニ関スル件

浜口前首相ノ逝去ニ関シ其後当局朝刊英字紙「マニラデーリーブレチン」ハ本月二十八日社説トシテ「浜口首相」ト題シ

日本ノ前首相浜口雄幸ノ死ハ氏カ「ライオン」ノ異名ヲトツタ程不撓ニシテ効果的ニ主義ノ為メニ戦ツタ人ノ死ヲ意味スル氏ノ性格ハ仏ノ「クレマンソー」ノ夫レニ彷彿タルモノカアツタ実ニ困難ナル障壁ヲ乗り越へ得タル所以ハ資性ト意志ノ力トノ結合ニ外ナラナカッタノテアル氏ハ首相就任後間モナク官界ノ腐敗一掃ノ為メニ戦ヲ挑ミ名声ヲ馳セタカ氏ノ仮借ナキ此彈圧ハ主トシテ日本

大使館参事官 矢野 真(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相逝去ニ対スル漢字紙論調報告ノ件

浜口前首相ノ逝去ニ対シ八月二十七日ノ北平晨報ハ社論ヲ又京報ハ小評ヲ掲ケタルカ概要左ノ通

一、浜口雄幸氏ヲ弔フ(八月二十七日北平晨報社論)

最近漸次快方ニ向ヘル由伝ヘラレタル浜口氏カ突如逝去セルハ一般ノ悼惜ニ堪ヘサル所ナリ浜口氏ハ前民政党ノ総裁ニシテ己ヲ持スルコト謹厳人ヲ待ツコト寛恕儕輩ハ何レモ推シテ師友ト為セリ数年前若槻氏民政党総裁ヲ辞スルヤ氏ハ黨員一致ノ擁戴ニ依リ起チテ中興ノ大業ヲ謀ル其ノ誠摯ナル人格ニ対シ国人ハ翕然トシテ従ヒ遂ニ民政党ハ議會ニ於テ絶對多数ヲ占ムルニ至レリ

浜口氏ノ對華方針ハ伝統政策ノ拘束ヲ受ケテ特異ノ貢獻ナカリシト雖其ノ任期中ニ兩國間重大ナル争端渺カリシハ同氏カ東亞ノ大局ヲ洞察シ兩國邦交ヲ顧全セルニ依ルモノト謂フヘシ中日関稅協定ノ成立ハ中国ヨリ見レハ何等特異ノ点ナキモ而モ浜口氏執政ノ下ニ非サレハ実現困難ナリシナラム日本ノ政治家ハ自ラノ權利ニ拘束セラレ

ノ不健全分子タル反動愛國団体ニ敵ヲ作ツタ遂ニ氏ノ死因ヲ為シタ一年前ノ狙撃事件ハ是ニ端ヲ發スルモノト見做レル浜口ノ死ハ日本国民ノ大ナル損失テアル

ト述ヘ又朝刊英字紙「トリビューン」ハ二十九日「浜口」ト題シ

日本ハ浜口前首相ノ死ニ依ッテ偉大ナル国家ノ吏ヲ失ツタ氏ノ業績ハ氏ノ果敢ノ資性ト不屈ノ意志トノ表徴デアッタ吾人ハ自國ニ斯ノ如キ単ニ賢明タルニ止マラス単ニ雄弁タルニ止マラス單ニ吸引力アル性格タルニ止マラス此等ヲ兼ネ備ヘタル指導者ヲ有センコトヲ冀フ一浜口ハ吾人群集ヲ頂上ニ迄向上セシムルテアラウ

ト論シタル社説ヲ掲ケタリ

右何等御參考迄ニ新聞切抜相添ヘ此段報告ス

701 昭和6年9月2日

在中国矢野参事官より
幣原外務大臣宛

浜口前首相逝去に対する漢字紙論調について

公第七六三三

(九月八日接受)

昭和六年九月二日

在中華民國日本公使館

テ大局ヲ達觀スルノ雅量ナク為ニ中日邦交モ久シク改善ニ由ナキ苦境ニ陥レルカ浜口氏ハ鷄群中ニ立テル鶴ノ如ク独隻眼ヲ具シ居レリ從ツテ其ノ環境ノ束縛斯ノ如ク惡劣ナラス且軍部ノ圧迫斯ノ如ク甚シカラサリシニ於テハ其ノ兩國邦交ニ裨益スル所渺カラサリシナルヘシ惜シムラクハ氏ノ努力モ未タ徹底スルヲ得ス從ツテ其ノ在任中ノ改善モ殆ト一般ヲシテ認識セシムルニ至ラサリシ次第ニテ此ハ独リ中日兩國ノ不幸タルニ止ラス浜口氏ノ終生ノ遺憾タリシナルヘシ

若槻現首相ハ其ノ聡明手腕ハ或ハ浜口氏ニ過クルモノアラムモ厚重誠直ハ遠ク及ハサルモノアリ其ノ民政党総裁ニ再任セルハ要スルニ浜口氏ノ病氣ニ依レルモノナレハ從來兎角風波ヲ免レサリシカ今又浜口氏ノ死アリ民政党ノ前途ハ一大危機ニ面セリト云フヘシ云々

二、浜口逝世(八月二十七日京報小評)

浜口氏ノ逝去ニ対シテハ哀悼ノ意ヲ禁セサルモノナルカ浜口氏ハ在世當時「獅子首相」ノ称アリ而モ遂ニ死セリ誠ニ蒙古人カ清ノ太宗ヲ悼メル語ニ「雪山白獅子力尽亦死」ノ名言アリ今ヤ獅子ハ死セリ力尽タルナリ然レトモ

浜口ノ死ニ拘ラス民政党ハ尚存ス浜口ノ精神ハ若槻内閣ノ裏面ニ依然存在ス此レ立憲政治ノ優点ナリ若シ夫レ專制独裁ノ政治ニ於テハ独裁者ノ死ト共ニ政治モ終止スルナリ即チ浜口ノ逝去ニ対シ羨望禁シ得サル感想ナリ云々

右何等御参考迄報告ス

本信写送付先 公使 南京

702 昭和6年9月4日 在米国出淵大使より
幣原外務大臣宛

浜口前首相逝去に関する米国の新聞論調について

普通公第四五〇号

(十月九日接受)

昭和六年九月四日

在米

特命全權大使 出淵 勝次(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相逝去ニ関スル新聞論調報告ノ件

浜口前首相逝去に際シ当方面二三新聞ハ特ニ社説ヲ掲ケ追悼ノ意ヲ表シタルニ付御参考迄其要旨左ニ訳報ス
紐育「ヘラルド、トリビューン」

ルハ只独リ日本国民ノミニ止ラサルヘシ云々

「ブルックリン、デリー、イーグル」

浜口雄幸ハ九ヶ月前首相タリシ時一政治狂ノ手ニ狙撃セラレタリ当時恰モ倫敦条約批准是非ノ論議沸騰シ居リタルカ彼ハ軍閥等ノ強硬ナル反対ヲモ顧ミス英米及日本国民大部分ノ是認スル政策ヲ勇敢ニ擁護シ不幸刺客ノ兇刃ニ倒レタリ彼ノ生命ヲ襲ヒタル行為ハ責任アル政敵ノ使賊ニ出テタルニ非サルハ勿論ナルヘキモ倫敦条約論戦中或ハ彼ノ愛国心ニ疑ヲ挟ムモノアルニ至レルニ因ルモノナルカ斯ル疑惑ハ日本人タル彼ノ最モ苦痛トセル所ナルヘシ米国人ハ此条約カ凡テノ関係国ニ有益ナリト信スルカ故ニ彼ノ努力ヲ深く感謝スルモノニシテ彼ノ政敵ト雖モ彼亡キ今日彼カ国家ノ財政難局ニ善処シタル功績ヲ認メ且ツ海軍軍縮実現ニ対スル愛国的動機ヲ諒知スルナルヘシ云々

「ボストン、クリスチャン、サイエンス、モニター」

浜口雄幸ノ名ハ日本歴史ニ光栄アル地位ヲ獲得セリ彼ハ平和ノ人ナリ然レトモ彼ノ生涯ハ武人ニ勝ル赫々タル戦勝ニ満チ居レリ最近彼カ武人的勇氣ヲ以テ軍部ノ政府容

浜口雄幸ハ報国ノ殉教者ナリ日本国民ハ彼ノ死カ国家ノ名譽ナル所以ヲ永久ニ記憶シ彼カ生前専心標榜シタル自由主義政策ニ対シ欣然共鳴スル処アルヘシ

昨年十一月東京駅頭ニ於テ国粹派凶漢ニ狙撃セラレ重傷ヲ負フヤ彼ハ久シク生死ノ間ヲ彷徨シ世人ハ其再ヒ宰相ノ重任ニ復帰シ得サルヘキヲ憂ヒタリ然レトモ彼ノ緊縮政策、穩健ナル対支外交、選挙権ノ拡張、倫敦条約ノ締結、枢密院トノ抗争等カ悉ク保守政治家ノ強キ反感ヲ買ヒ居レル矢先彼ニシテ辞任隱退セムカ必スヤ反動内閣再現シテ極右政策実施セラレ其結果トシテ或ハ熾烈ナル共産運動ヲモ誘発スヘキ情勢ナルニ鑑ミ彼ハ深く悟ル所アリ敢然病軀ヲ押シテ議會ニ出場シ甘シテ保守派議員ノ非義俠的攻撃ノ的トナレリ此ノ努力ニ対スル国民ノ同情ハ彼ノ政策ヲ繼承スル若槻内閣ノ成立ヲ容易ナラシメタルモ一方之カ為彼ノ病勢ハ頓ニ革リ遂ニ死ヲ招クニ至レリ浜口雄幸ハ爵位ナク富ナク只自己ノ優秀不撓ノ努力ノミニ依リテ其ノ地位ヲ克チ得タル人ナリ彼ハ謹嚴寡慾自己ノ信念ニ忠ニシテ小策ヲ弄シ得ル政治家ニ非ス彼ハ遂ニ国務ノ犠牲トナリタルモ其貴キ死ヲ永久ニ記憶歎賞ス

喙ヲ根絶シタルハ其一ナリ倫敦海軍条約ノ無条件ヲ獲ル為ニハ浜口ノ率ユル政府ハ他国政府ノ想像モ及ハサル大難関ニ逢着セリ日本全權ノ一員タル財部海相カ首相ノ命令ニ従ヒ倫敦条約ニ調印セル事ハ日本ニ執リテハ実ニ革命的事件タリシナリ此一事ニ依リ永キ因襲ハ打破セラレタレハナリ財部ハ海相及海軍大將ノ資格ニ於テ軍事参議院ニ対シ責任アレトモ内閣ニ対シテハ責任ヲ有セス海軍ニ関シテハ天皇補弼機関トシテ内閣ニ対シ軍事参議院カ優先的地位ヲ占ムトノ思想ハ民主政治ノ進歩ニ不拘依然慣習法の価値ヲ憲法上有シ居レリ從テ軍部ハ此特權擁護ノ為枢密院等ヲ利用シ盛ニ浜口ニ拮抗シタルモ彼ハ熱心ナル輿論ノ支持ヲ得遂ニ軍部ヲ屈伏セシメタリ

此勝利ハ浜口一個人ノ勝利タルニ止マラス実ニ日本ノ二重政治ノ終焉ヲ意味スルモノナリ從來多クノ首相ハ此隠レタル勢力ニ叩頭スルヲ余儀ナクセシメラレ居タルモ民主思想ノ普及ト共ニ斯ル変体的制度ノ存続ハ許サレス遂ニ浜口首相ノ手ニ依リ此民主政治ノ大障礙ハ全ク除去セラルルニ至レリ

日本国民カ浜口ノ功績ヲ賞揚スルハ宜ナリト云フヘシ云

703 昭和6年9月7日

在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛

浜口前首相死去につき臧遼寧省政府主席、王

遼寧特派員よりの弔意伝達方依頼について

普通第七二三号

(九月十二日接受)

昭和六年九月七日

在奉天

総領事 林 久治郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相薨去ニ付キ弔意伝達方ノ件

本件ニ関シテ今般遼寧省政府主席臧式毅及遼寧特派員王鏡

實両氏ヨリ別紙書翰写ノ通弔意伝達方依頼ノ次第アリタル
ニ付浜口前首相遺族ニ対シ右伝達方可然御取計ヒ相成度シ
敬啓者前聞

貴国前総理大臣浜口閣下因病逝世老成凋謝名宿云亡靈耗驚
伝不勝悼惜之至專函致唁併希転達関係方面為荷此致

林総領事台鑒

臧式毅 拝啓

大中華民國二十年九月一日

王鏡寰

日本外交文書 一九三〇年ロンドン海軍會議 下 終

付録 一九三〇年ロンドン海軍會議(上・下) 日付索引